

## ごあいさつ



平素より気仙沼信用金庫に対しまして、格別のご愛顧とご高配を賜り、誠に有難く厚く御礼申し上げます。

ここに、当金庫の経営方針や業務内容、財務内容をはじめ、東日本大震災からの復興に向けた各種取組みをご理解いただくため、「気仙沼信用金庫ディスクロージャー2015」を作成いたしましたので、ご高覧頂ければ幸いです。

さて、東日本大震災から4年4カ月が経過しましたが、これまで、国・県・市町による多岐に亘る予算措置を講じた適時適切な支援施策の実行により、被災者や被災事業者へ様々な支援の手が差し伸べられ、復興関連工事を中心とした公共投資や沿岸部を中心とした住宅再建、災害公営住宅などの復興需要により、地域経済は緩やかな回復基調にあります。

一方、時間の経過と共に、事業者においては事業の再生・継続、経営改善、事業承継、成長分野などの新たな事業展開に向けた取組み、更には住まいの再建や地域全体では人口減少など様々な課題が山積し、顕在化しております。

当金庫は被災地に本支店を構える金融機関として、産業の再生と雇用創出に貢献するため、全国の信用金庫業界のノウハウ・ネットワークの活用や、様々な外部機関との協働を通じて、金融の円滑化、金融仲介機能を発揮すると共に、経営改善や新規創業、並びに住宅再建等の支援に取り組んでおります。また、成長戦略の柱であります「地方創生」は、これまで信用金庫が自らの使命として取り組んできたものであり、正に信用金庫の役割発揮が求められているところであります。

被災地を取り巻く環境は徐々に明るさを取り戻しつつあるものの、前述のとおり未だに多くの課題に直面しており、当金庫も本店の仮設営業のほか4店舗を閉鎖した状態ではありますが、お取引先皆様の利便性向上のため店舗網の整備を進めるとともに、震災からの一日も早い復興と地域の発展、活性化に向けて、今後も役職員一丸となって邁進して参りますので、更なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年7月

気仙沼信用金庫  
理事長 菅原 務

